



今年も変わらずに桜が春を彩って
楽しませてくれました
新1年生のランドセルもまぶしく
笑顔で走って登校する姿は
凛々しくも可愛い

これからハナミズキ、あじさいと
豊かな土壌に花々が咲き誇ります



変わりゆく社会の中で、現代の子育てをする皆様への熱いエール♡

渡邊 香

助産師、国立看護大学校成育看護学准教授
小規模保育室ピッコロルーム運営委員

現代は、昭和の時代から少しずつ進行した少子化や核家族化だけでなく、育児のワンオペ化や密

室化、子育て・家事・仕事の^{注1}マルチタスク、ソーシャル・サービスの複雑化、ネット情報の蔓延等、
子育てを取り巻く環境が目まぐるしく変化しています。子育てをする方々のご苦労は察して余りある
のですが、さらに社会からの高度で複雑な要求はエスカレートするばかりです。

こんな中で、悩みながらも本当によく頑張っている方々のお姿を見ると、頭が下がると同時に
メキメキと希望が湧いてきます。私もずっと子育て・家事・フルタイム勤務を並行して
行い、既に子どもも成人しましたが、これらの中で個人にとっても社会にとっても最も重要性が
高いのは育児だと断言できます。

最も重要なことに取り組むのですから、悩みや少しの失敗はあって当然です。事実、子育ての
悩みや心配は、赤ちゃんがお腹にいるときは「無事生まれてくるだろうか」、生まれたら「病気になる
ずにちゃんと大きくなるだろうか」、小学校では「友達と仲良くできるだろうか」、中学校では「勉
強についていけるだろうか」・・・と、社会人になるまで尽きません。ぜひ、ピッコロのような専門
家のいるところや身近な子育て仲間に小さなことでも相談してみてください。また、家族やお友達
など、周りの人をどんどん巻き込んでください。

少子化の現代、明日を担う子どもとふれあい、子育てを身近に実感できることは、いま子育て中
でない人にとっても貴重な経験です。社会全体で協働して子育てをしていけるよう、陰ながらでは
なくドンドン表に出て応援していきたいと思います。

注1 マルチタスク=複数の作業を同時に行う機能のこと

第 52 回理事会報告

平成 31 年 3 月 30 日 (土) 13:30~事務所において理事会を開催しました。以下の内容の話し合いでした。

- ・一身上の都合で池田いづみ理事が退任された。理事の人数は任期途中のため、1 年は補充しない。
- ・平成 31 年度の事業報告からみえてくる課題について報告し、対策については事業計画に入れる。

また、理事、事務局、責任者で行った中期計画については、さらに詳細に入れていく。

- ・事務所防犯対策をより強化について。
- ・内規一部見直しの決議。
- ・支援者と「機密・個人情報に関する誓約」を交わすことの報告。



DD ユニットファミリーサポート

アドバイザー 水上真理

DDユニットファミリーサポートのアドバイザーに就任して、早 1 年が経ちました。東京医科歯科大学・順天堂大学に在籍する、教職員および大学院生の子育て支援のひとつとして、大学側がピッコロに委託しているファミリーサポート室です。

研究者だけでなく、すべての教職員および大学院生が利用可能となり、1 年間に約 70 名の依頼会員登録がありました。医師・看護師・教員・事務職員などそれぞれ職種は違いますが、仕事をしながら子育てをしているので「子どもが病気になってしまった時に、預かりをお願いしたい」と言って、登録に来られます。現在、行政が行っているファミリーサポートで、病児保育を行っている自治体は限られています。

DDユニットファミリーサポートでの病児・病後児保育は、利用者の希望を考慮して 2019 年 4 月から生後 6 ヶ月からの利用が可能になりました。育休が明けて保育園に通い出し、集団生活に入った子どもたちは、風邪などひきやすくなります。そのような時に、DDユニットファミリーサポートでは、依頼会員の仕事・学業・育児・家事の両立に、少しでもお役に立てればと思っています。

今後も、どうぞよろしくお願いいたします。

定例会から

隔月に 1 回、支援者が集う定例会を行っております。ピッコロの活動状況をお伝えしたり、グループワークで話す時間もあります。3 月の定例会では以下のような支援者さんの思いがあふれた内容でした。今後も、保育に役立つ内容も取り入れていきますので、支援者の皆様ご参加ください

- ・人見知りするお子さんとかかわりて工夫していることはあるか。
- ・夫や家族も支援でお子さんを預かることを楽しみにしてくれている。
- ・子どもが小さい頃は保育付きのファミサポの保育サービス講習会で学びリフレッシュ、今は支援者として小さい子との関わりを楽しんでいる。自身の子の成長も感じる。
- ・昔支援に入っていたお宅のお母さんがお仕事の関係で新聞に載っていた。子どもさんも大きくなれたらと思う。
- ・南口の新児童館の構想、温かい児童館になるといい、世代間の交流が図れる場所だといいい。



支援者の皆様

いつも活動に協力いただき、ありがとうございます。

支援者の方が、利用される家庭でお子さんの預かりや家事援助を行う上で、より安全であるために年に一度の健診をお願いしております。

市民健康診断なども利用してご協力ください。





笑顔を生むお手伝い

支援者 浜田佳子さん



2013年10月にピッコロに入会しました。市報に載っていたファミサポ講習会を受講したのがきっかけです。その後、ホームスタートも受講しました。

保育やホームスタートの活動をしていくにつれ、自分が誰かのために役立っている実感が喜びになりました。そして、少しずつ自信ももてるようになり、今までの自分と大きく変わりました。

保育などの活動を通して感じたことは、子どもが笑顔にいるにはまず親が笑顔であることが大事だということです。そのお手伝いができるピッコロの活動に携われて、大変嬉しく思っています。

縁あって小学生の介助員を任されて今年で6年目になります。正直こんなに長く続けられるとは思ってなく、自分でも驚いています。保育や介助などの活動を悩みながらも楽しくできるのは、ピッコロのスタッフや先輩方のお力添えのおかげです。頂いた力を何倍にも変えて皆様にお届けし、笑顔になってもらえるようこれからも頑張っていきたいです。

『ピッコロに連絡して!』

利用者 Oさん



我が家はフルタイムの共働き。両方の実家は遠方のため、子どもたち(小二、年中、1歳)が発熱や病気の時には、ファミサポと併せてピッコロにたくさん助けていただいています。

昨年、3人目の出産時、事情により実家は頼れず、産後は夫婦だけでやりくりしました。産後の肥立ちが悪く、3人目にして初めて誰かに助けてほしい!と思う時期が続きました。3人目のピッコロなどは未登録であったため市の相談窓口にお問い合わせると、幾つかサービスはあるのですが、どれもまずは申請や面談、利用日の決定など順序があり、そんな元気ない…、電話一本で来てくれればいいのに…と、利用することを諦めました。

先日、その話をたまたまコーディネーターさんにお話したところ、『ピッコロに連絡してくれば、登録なくても何とかしたのに!辛かったね!』と言っただき、産後1年にして、初めて救われた思いでした。仕事復帰に向けて大きな安心をもらえた一言でもありました。

あの時の私のように、今、まさに出産や育児で悩み、助けを求めている人がいたら大きな声で伝えたい!『ピッコロに連絡して!』と。

赤ちゃんのチカラプロジェクト

中学校での出前講座が今年も始まります!

- 6/13(木)、14(金) 清瀬中学校
- 6/19(水)、20(木)、21(金) 第二中学校
- 7/16(火)、17(水) 第三中学校
- 9/11(水)、12(木) 第五中学校
- 9/19(木)、20(金) 第四中学校

第16回定期総会のお知らせ

6月8日(土)15:30~

アイレック会議室

総会は、正会員の出席で成立しますが、準会員の方も傍聴が可能です。希望の方は、事務所までご連絡ください。

正会員の皆様へは5日前までに資料等配布いたします。

